

# 九工大生 今年も学習支援

## 飯塚市 二瀬中生が英数学ぶ



生徒の質問に答える九州工業大の学生(右)  
(写真の一部を加工しています)

飯塚市立二瀬中で23日、九州工業大情報工学部(飯塚市)の学生による「夏休み学習支援」が始まった。地元住民でつくる二瀬地区まちづくり協議会が、地域支援の一環で4年前から取り組んでおり、伊岐須小や片島小でも実施する。

二瀬中での学習支援は29日まで。2日目の24日は学生5人が1、2年生の英語と数学の授業に参加し、問題が解けずに考え込んでいる生徒がいると、駆け寄って個別に指導。吉田浩昭校長は「指導者の数が増えると、生徒たちは分からないことをすぐに聞けるのでありがたい」と語る。

2年生の安永壮汰さん(13)は「兄と考えるくらい年が近いので、気軽に質問できた」と笑顔。九州工業大1年の原田旭暉生さん(18)は「図や簡単な言葉で教えることを意識した。少しでも力になれたらうれしい」と話した。

(本山優紀)